

施工手順

1. 作業前の確認

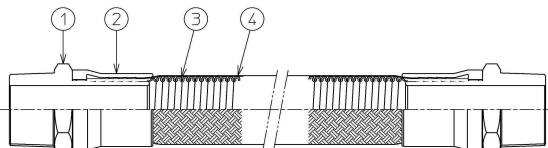


表1 部品表

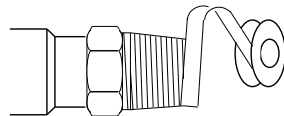
品番	部品名	材質
1	オス固定ニップル	SUS304
2	プレスカバー	SUS304
3	チューブ	PTFE
4	ブレード	SUS304

施工前に次の事項についてご確認下さい。

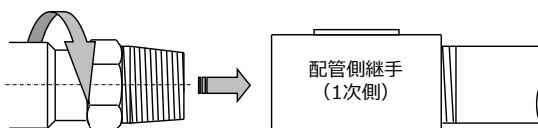
- 口径、長さが適正か
- ねじ部に損傷がないか

2. 配管への取り付け1 (1次側)

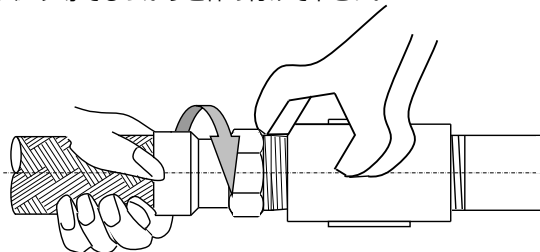
① 品番1のPTねじ部にシールテープを巻き付けて下さい。



② 配管側継手にニップルを手締めできる山数までねじ込んで下さい。

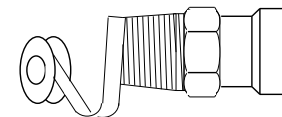


③ スパナ等でしっかりと締め付けて下さい。

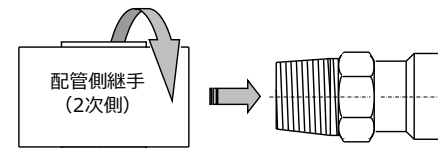


3. 配管への取り付け2 (2次側)

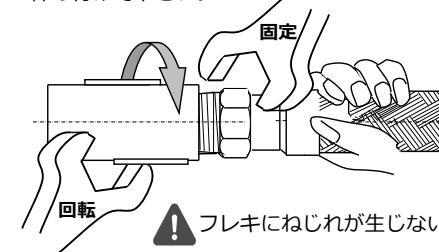
④ 1次側と同じく品番1のPTねじ部にシールテープを巻き付けて下さい。



⑤ ニップルを固定しながら、配管側継手を手締めできる山数までねじ込んで下さい。



⑥ フレキ側をスパナ等で固定した上で、配管側継手をしっかりと締め付けて下さい。



オプション

PPブレード仕様	腐食性ガスの透過によるブレードの損傷を防ぐため、樹脂製ブレードを装着しております。
静電気対策仕様	ホースへの静電気の滞留を防ぐためカーボンを添加したホースを使用しております。

⚠ 注意事項

- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速（内径基準）が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- 袋ナットの締め付けに際しては、フレキの振れを防止するため、必ずニップルをレンチで固定して下さい。
- 取り付け時のねじれ防止の為、製品の片側にねじ込みフランジやユニオン継手を取り付ける事を推奨します。
- 腐食性のあるガスや塩酸等の気化する流体をご使用される場合は、透過した腐食成分が空気中の水分を吸収して酸が生成され、SUSブレードを腐食させる恐れがあります。このような恐れがある場合は「PPブレード仕様」をご使用下さい。
- 流体が高比重の場合や、燃料及び高圧水蒸気などの場合、ホース内面が静電気を帯びることがあります。溜まった静電気が帯電強度を超えた場合、外層のブレードに向かって放電することがあり、これによってホースが破損することがあります。このような恐れがある場合は「静電気対策仕様」をご使用下さい。